

平成22年度

文部科学省「大学生の就業力育成支援」選定取組

真の就職率ナンバーワンプロジェクト

「新あすなろう体験」の導入による就業力育成の実質化

学校法人 永原学園



西九州大学



西九州大学
新ひとづくり
計画スタート

確かな知識と技術、そして豊かな人間力が備わった 魅力あふれるひとづくりプロジェクトが始まります。

本プロジェクトは、従来の各学科と教務課並びに学生支援課による専門職業人養成システムに加え、幅広い職業人としての資質能力の向上を可能とする新しい教育プロセス（「新あすなろう体験Ⅰ～Ⅲ」）を共通教育課程に設置し、新設するセンターでこれを運用します。この取組によって、学生の職業感や将来展望を明確にし、適正な就業へと学生を導きます。これらの科目群には、専門分野にとられないボランティア、地域活動、インターンシップ、グルー

プワークによる課題解決型学習(PBL)等の体験型学習が組み込まれています。学生はそれらを継続的に学習し、幅広くかつ明確な職業感を養うことができます。また、PBLの実社会への還元といった高次元の課題も用意し、これらを通して学生は、社会人に必要とされる自律的能力(問題解決能力、コミュニケーション能力、自己管理能力等)を身につけることができます。

目的

- ・本学で学ぶ全学生に、職業人としての資質能力の向上を可能とする新しい教育プロセスを提供します。
- ・学生の将来展望を明確にし、誤った職業観を修正し、適正な就業へと学生を導きます。

内容

- ・社会人基礎力の養成。
- ・専門分野にとられないボランティア、地域活動、インターンシップ、グループワークによる課題解決型(PBL)等の体験型学習。

効果

- ・社会人に必要とされる自律的能力(問題解決能力、コミュニケーション能力、自己管理能力等)を身につけることができます。
- ・就職活動におけるミスマッチの解消(真の就職率の向上)。

取組の具体的内容

1. 全学共通教育への3科目(3単位)新設と、それにとまなう卒業要件の見直し

a 「あすなろう体験Ⅰ(基礎)」 (1年次通年・必修1単位)

本事業のスタートであり根幹となる本科目は、1年次の全学必修科目とします。授業は少人数ゼミナール形式で通年隔週開講。主な内容はキャリアポートフォリオの作成及び活用法の修得、社会人基礎力の理解、体験型学習としてボランティアや地域活動への参加を行います。各活動はポイントに換算され、体験Ⅰでは10ポイント以上が必要要件となります。

b 「あすなろう体験Ⅱ(実践)」 (2～4年次の通年・選択必修1単位)

本科目は体験Ⅰの発展型科目であり、選択にすることで1年次に修得した基礎力を学生が主体的に高めることを狙いとしています。授業は通年開講で、学外ではインター

ンシップや専門分野にとられないボランティアや地域活動などへの参加・参画により、多様な社会人と協働する機会を持ちます。また、学内では学科・学年の枠を越えた小グループを形成し、課題解決型学習を体験。これら学内外における実践型学習を通し、社会人基礎力及び人間力を高めることで就業力向上を図ります。

c 「あすなろう体験Ⅲ(応用実践)」 (3～4年次の通年・選択必修1単位)

本科目は、あすなろう体験Ⅱの学習経験を踏まえ、さらに社会形成能力の向上を目指し学外組織と連携した取組を希望する学生が選択する科目となります。内容の特色は、学生による地域活性化提案プログラム、教員提案型研究プロジェクト、企業提案型共同研究など、学内外の様々なニーズに応える実践にあります。

2. 「キャリア・ポートフォリオシステム」の導入

ここでいう「キャリア」とは、「個々人が生涯にわたって遂行する様々な立場や役割の連鎖及びその過程における自己と働くこととの関係付けや価値付けの累積」を表します。これをポートフォリオ化し、就業力育成支援を効率的に行います。本学のキャリア・ポートフォリオシステムは、ソーシャル・ネットワーキング・サービス(SNS)を付帯し、SNS上で様々な人、団体と情報交換を行うことができます。大学もこのシステムを介して、学生に対し情報提供を

行います。学生にはこれらのシステムに活動記録を書き込むことを義務付け、行動を可視化し、正しい自己理解や自己管理能力をもった人材の育成に活用します。これらのシステムを導入することにより、入試、教務、学生、就職等の学内の基幹システムとの有機的なデータ連携が可能となり、情報を一元的に把握できるようになります。さらに、SNSに学外機関や卒業生を参加させることで、学内外からのより包括的な支援が可能となります。

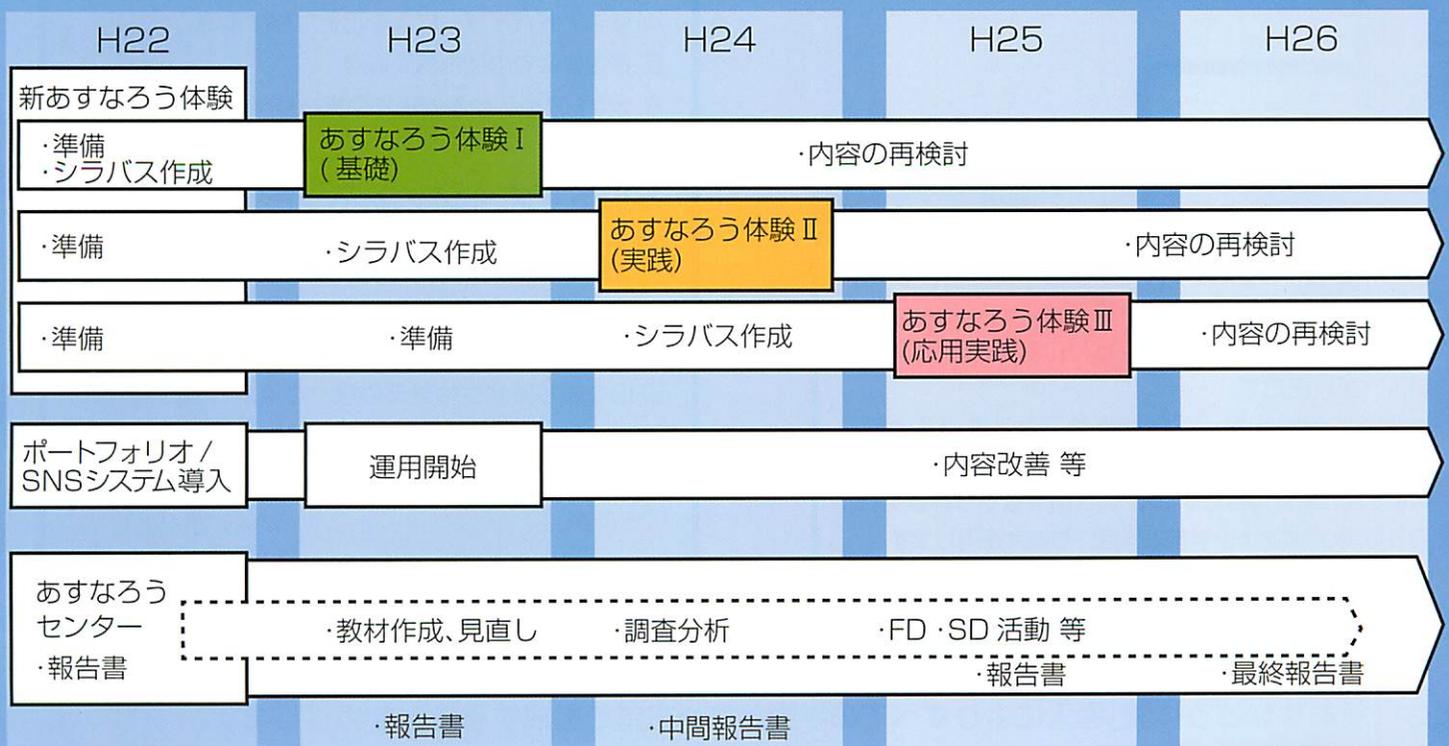
3. 「あすなろうセンター」の整備

プロジェクト推進センターとして「あすなろうセンター」を立ち上げ以下の活動を行います。

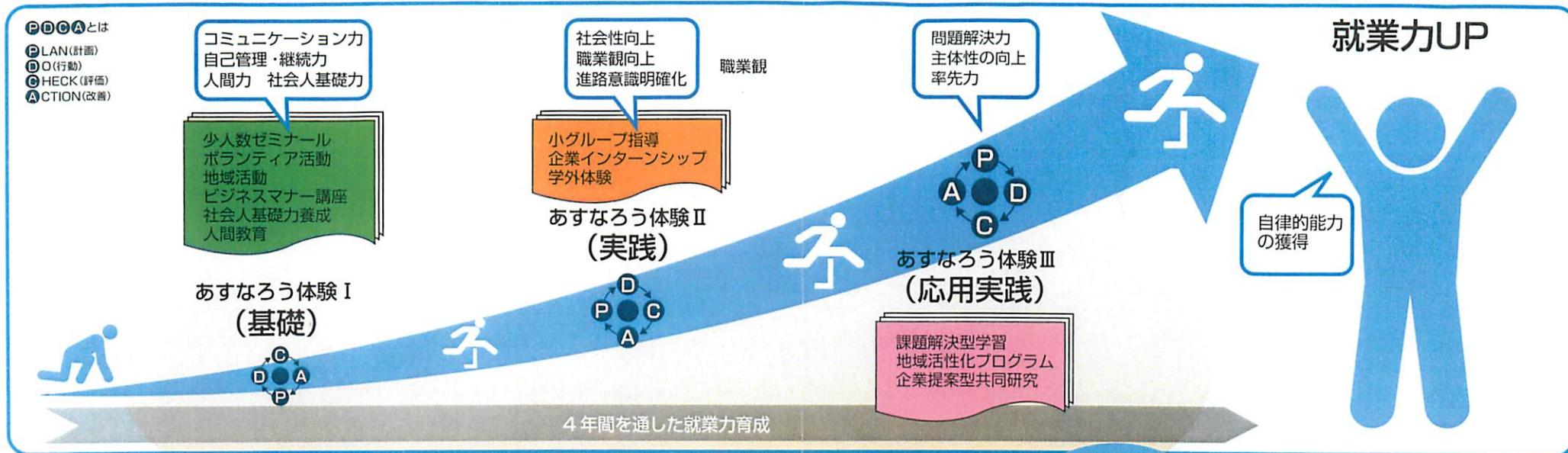
- a. 専門教育を担う各学科、実際に職業斡旋を行う学生支援課、修学状況を把握する教務課と連携を取りながら、「専門教育」と「教養教育としての職業人教育」を連動させるコーディネートを行います。
- b. 在学生や卒業生に対するワークライフバランス相談をはじめ、「新あすなろう体験」科目群の運営等、様々な就業力育成支援を行います。

- c. FD・SD活動を積極的に実施し、指導方法の向上をはかる。本FD・SD活動は年2回実施し、その結果を報告書として開示するとともに、取組の改善資料とします。
- d. 「新あすなろう体験」科目群に用いる教材等の開発を行います。
- e. 学外機関との間で、インターンシップやボランティア等に関するコーディネートを行います。

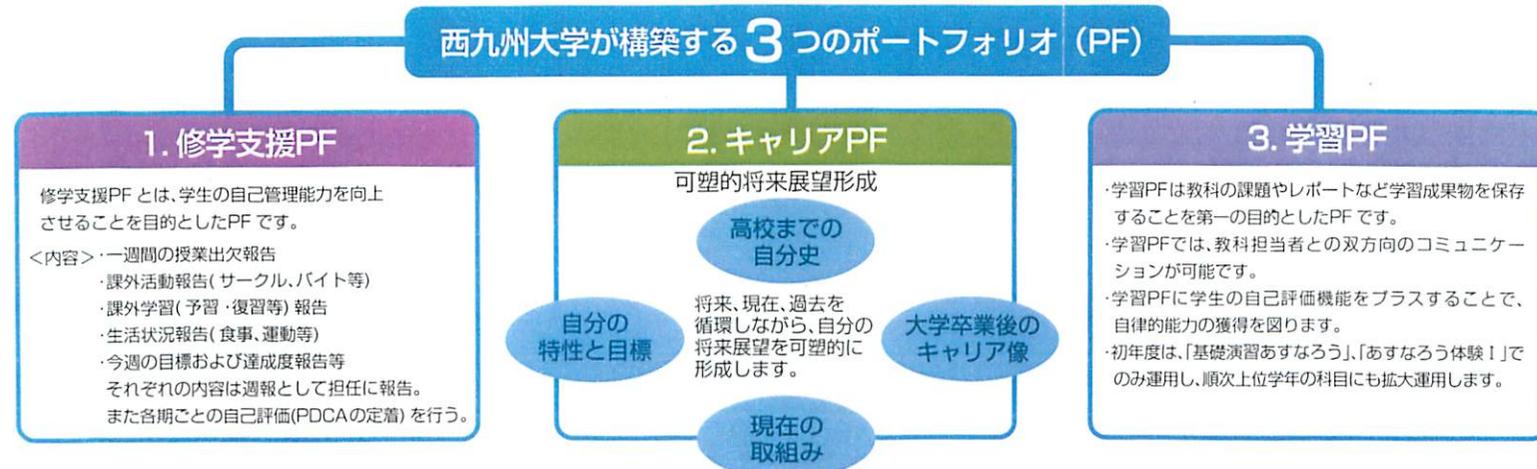
取組の全体スケジュール及び各年次の実施計画



「新あすなろう体験」により自律的能力と就業力をアップ!



「新あすなろう体験」を支える仕組。
 初年次教育と就業力育成を支えるポートフォリオシステムを構築します。



ポートフォリオ活用で期待される効果

1. 修学・生活の自己管理と分析(自立と自律への第一歩)
2. 自己評価の文章化による自己表現力強化(エントリーシートへの接続)
3. 次年度の目標と行動設定(キャリアデザイン)明確化
4. 修学アドバイザーによる迅速な修学指導
5. 保護者会での個別相談資料
6. 大学HPや入学案内等での実在修学モデルの提示

SNS(ソーシャルネットワーキングサービス)システムとPFシステム

各PFは、学生ポータルサイトに統合されます。また、SNSも、このポータルサイトにリンクされます。SNSを通じて学生は外部の様々な資源と双方向でやり取りができるようになります。ポータルサイトでは、時間割情報をはじめ、休講等の各種お知らせを配信できます。

そして、真の就職率ナンバーワンへ。真の就職率とは、就職内定者のうち第一志望を達成した学生の割合です。今後は「新あすなろう体験」導入によりすべての学生が第一志望を達成することをめざします。

